

テキストの更新について

テキスト内容は、大きく三つのブロックに分かれています。

規格・機能・整備です。

テキストの記載内容については、都度の確認を行い、改定の必要があると考えられる場合は、修正・追記を行います。

確認において、それぞれの改定となる主な理由が異なります。

規格＝JIS 規格の更新による変更

機能＝説明文の理解のしやすさを重視し、表現方法や挿入図の追加変更の検討

整備＝新機種新機構による手順の追加、社会情勢を考慮した手順の追加

規格については、「車いす」→「車椅子」への表記の変更や、「日本工業規格」→「日本産業規格」への変更などが挙げられます。

機能については、記載項目をストーリー化し、流れが理解しやすくなるように記載順を変更、図の追加や、既存図自体への書き込みが挙げられます。

整備の「社会情勢を考慮した～」については、例を挙げると、

- ・軽量車椅子の増加によって、フットサポートの貫通式に関する内容が追記されたこと
- ・同理由から、タイヤチューブ交換手順で高圧タイヤでもリスクを負うことのない分解組立手順の変更

などが挙げられます。

2020年3月まで、「整備士のひろば」に都度、最新版のテキストを一冊閲覧できる状態にして参りました。

整備士有資格者であれば、誰でも閲覧できる状態にしていたことと、最新版テキストに○年第○版などの表記をしていたので、それまでの差分に関しては、都度ご確認いただいていたと存じます。

今後、「車いす安全整備士の会」においては、有資格者に2タイプが発生することとなります。

「本会に登録し、会員となる有資格者」と「本会に登録せず、会員とならない有資格者」です。

この違いによる本会の違いは、会員用コンテンツを閲覧できるか否かです。

本会ホームページの構成は、基本的に「①有資格者以外への広報」「②有資格者への情報提供」となります。

この②については、基本的には会員専用コンテンツで対応できると考えておりますが、「本

会に登録せず、会員とならない有資格者」への情報提供をどうするかという問題が残ります。

今までは、有資格者の方が、テキストの更新や紛失などを理由に、冊子としてのテキストを希望される場合は、1冊2,000円で販売し、電子データで構わないという場合は、ひろばに掲載されたテキストのダウンロードをご案内してきました。

当資格は、更新制度をとっていないこともあり、新しいテキスト内容に対して重要性を見出しにくいという方が多いことも事実ですが、年間に数件ですが、購入依頼をいただくことはありました。

車いす安全整備士実行委員会でも、内容の更新部分の既有資格者への公表については議論を重ねて参りました。

他の様々な資格の教材において、「既存資格取得者に、都度の更新などの連絡や無償提供していることなど、一般的とは言えない」という常識的な認識があることは事実です。

しかし、本養成講座の創生時の理念である「安全な車椅子を安心して使用できる社会環境への寄与」を主軸に、実行委員会では論議を続けました。

結論として、更新制でもなく、当資格がなければできない業種が現時点ではないという現状を踏まえ、既有資格者への無償での情報提供を行うこととなりました。

その情報提供ツールが、「整備士のひろば」であったのです。

これらの経緯を踏まえ、本会ホームページでは、一般の方が閲覧できる部分に、2020年3月時点の最新版テキスト(データ含む)を持っている状態であれば変更箇所がわかるように、変更部分のみを掲載することとしました。

(会員用コンテンツには、従来通りに最新版テキストがそのまま閲覧できる環境を継続いたします。)

本講座を受講していない人が見ても、意味をなさないようにすることと、有資格者で本会の会員登録していない人でも、既を受講した人であれば変更部分がわかるようにするという、2つの目的を達成するための手段としてこの方法をとることにしました。

テキストが改定された場合、改定版が出たことだけを公表し、購入希望される方への対応だけ行えば良いという、一般的な考えを基にした議論があることは事実です。

そのため今後は、一般公開用部分では変更や改定の案内だけ行い、会員用コンテンツでのみ変更内容を公開するという方法に変更する可能性はあります。

以上、上記内容をご了承いただきたく、よろしくお願ひいたします。